

設計趣旨

猫9匹、犬1匹と暮らす家。敷地は、狭小の借地区画に木造住宅が密集して建ち並び街区の中、間口4m、奥行23mであった。既存建物は必要十分な床面積があったため、これを改装利用するものとして様々な可能性を検討した結果、依頼者が望む安全快適な住環境を実現するためには、この大きさはむしろ不要であると判断した。

ここでは、サステナビリティの観点からも、間口、奥行、高さともに、既存よりあえて縮小して造り直す「減築」が望ましいと考えた。生活の中心となる居間は、減築によってできた前庭(犬の庭)と中庭(猫の庭)に面することで、十分な採光と通風(そして癒し)を確保している。



既存建物



減築後



講評

建坪率100パーセント近くの古い木造住宅が建ち並び街区の借地にこの住宅は建っている。裏には幅2メートルにも満たない路地が走る。この特殊ともいえる場所で、車を持たずに、犬猫と暮らす小さな造りに減築建て替えしたところに、この住宅の新規性がある。ペットとの共生を、余分なもののない減築の手法で考えることは、これからの人口減少社会における高齢化対応住宅のあり方にも示唆を与えてくれる。

ここでは、必要以上に建物の立派さや、維持管理性は追求していない。犬一匹と猫9匹を友達にして暮らすという幸せを大事にしている。犬は前庭と犬走りを回遊し、猫は猫走りと猫階段を縦横に疾走できる。

消臭性のある内装塗壁の素材は、建て主が探し出したものだという。手作り感のある立体的な空間の広がりが楽しい。

設計者

有限会社Y設計室
代表取締役 家原英生
〒810-0042
福岡市中央区赤坂1丁目15番15-503号
TEL 092-715-5410
URL <http://homepage3.nifty.com/y-sekkeishitsu/>

建築主 施工者 用途 構造規模

個人
有限会社岡部工務店 代表取締役 岡部登志保
一戸建住宅
木造 2階建